

こどもとしゃかん R1. 11~12月あかべえ展示コーナー

ねこのほん



タイトル	著者名	出版社	
『ひだまり』	林 木林 文 岡田 千晶 絵	光村教育図書	E/ヒ
大きなトラねこのトラビスは、ほかのねこから魚をうばって食べるような乱暴者。やさしいミケねこのミケーレと出会い、仲良くなるにつれて、トラビスにとってミケーレは大切な存在になりました。			
『てつぞうはね』	ミロコマチコ 著	ブロンズ新社	E/テ
白くておおきな、ねこの「てつぞう」。わたしとの毎日を楽しみ暮らしていたのに、8回目の冬、てつぞうは小さくなって動かなくなった。わたしとてつぞうの、大切な思い出を描いた絵本。			
『おなかのかわ』	瀬田 貞二 再話 村山 知義 絵	福音館書店	E/オ
とってもケチで食いしん坊のネコは、友だちのオウムがくれたクッキーだけではもの足りず、オウムまでも食べてしまいます。外に出たネコは、道で出会ったロバや王さまの行列もペロリ。ネコが最後に食べたのは・・・？			
『あいたくなっちゃったよ』	きむら ゆういち 作 竹内 通雅 絵	ポプラ社	E/ア
ヤマネコが家族の待つ家に帰る途中、おいしい子ネズミを見つけました。子ネズミが「うちの父ちゃんはずごいんだぞ」という姿をみて、ヤマネコの気持ちに変化が……。お父さんを描いたおはなしです。			
『ねこのオーランドー たのしい日々』	キャスリーン・ヘイル さく こみや ゆう やく	好学社	E/ネ
ねこのオーランドーとグレイスは、子ねこたちに習い事をはじめさせました。しかし、子ねこたちが忙しくなると、グレイスは悲しくなっていました。グレイスをはげますために、子ねこたちは、習ったダンスやお芝居で出し物をすることにしました。			
『ねこの小児科医ローベルト』	木地 雅映子 作 五十嵐 大介 絵	偕成社	F/キ
夜遅く、弟のユウくん体調が悪くなってしまいました。急いでお医者さんをお呼びすると、バイクに乗ってやって来たのは、ねこのローベルト先生でした。			
『みけねえちゃんにいうてみな』	村上 しいこ 作 くまら 珠美 絵	理論社	F/ム
みけねえちゃんの家族は、人間のお母さんと2年生のともくんです。ともくんが突然、自分のことを「うーちゃん」と呼ぶようになりました。みけねえちゃんは、ともくんの学校についていて、なぜ「うーちゃん」と呼ぶのか調べることにしました。			
『コクルおばあさんとねこ』	フィリパ・ピアス 作 アントニー・メイトランド 絵 前田 三恵子 訳	徳間書店	933/ピ
ふうせん売りのコクルおばあさんは、黒ねこのピーターと暮らしていました。ある日、ピーターが家出をしてしまいます。心配しすぎてやせてしまったおばあさんは、売り物のふうせんにひっぱられて空へ浮かび上がってしまいました。			
『すてねこたちに未来を 小学4年生の保護ねこ活動』	菅 聖子 著	汐文社	645/ス
ねこの保護活動をしている小学校4年生の女の子の実際のおはなしです。毎日のねこのお世話のことや、新しい飼い主を探すための活動などを紹介しています。			
『なぜ?の図鑑 ネコ』	今泉 忠明 監修	学研プラス	645/ナ
ネコについての「なぜ?」を、写真とイラストで紹介しています。「なぜ、高いところが好きなの?」「ネコの種類は、何種類?」など、読めばネコについて、くわしく知ることができる図鑑です。			